

行田のスケッチマップとイメージについての考察

八代研究室
00312129 山崎 孝

1. はじめに

私は行田に住み 7 年が経つ。アルバイトを通してほぼ知悉し、かなり詳細に描ける様になった。図 1 は示すように行田の私が描いたイメージマップで、A は、行田市駅周辺・B 吹上駅風辺、C 行田駅周辺部分を指している。図 2 は行田市概略で網かけ部分が筆者の描いた部分である。

しかしながら、自分以外の人々、たとえば行田市前谷に位置する、ものづくり大学に通う学生や自分以外の人々、たとえば人々がどのように行田をイメージしているか興味を持ち、その認知の構造の一端を明らかにしたいと考えた。

2. 調査方法

ものづくり大学の学生・学園祭に来た一般の方、からアンケートを取り分析した。

9 月 25 から 11 月 20 日の 57 日期間で行い、(そのうち 10 月 31 日・11 月 1 日学園祭) 本学において、アンケートを実施した。具体的には、A3 判用紙に自由描画を依頼した。



図 1—筆者による、行田市のイメージマップ
(左の原図は、縦 1400m×横 1800m)

2-1 アンケートの内容

自分の知っている範囲で、行田市のいわゆるイメージマップを描く事。ただし、地図は、見ない事を条件とし、縮尺やスケールは、自由とする。その結果を表 1 に示すように計 67 名のイメージマップを得た。

3. 分析方法

集めたイメージマップを次の 4 つのグループに分けた。

- ①行田市在住 一般 11 名
- ②行田市在住 ものづくり大学生 13 名
- ③行田市外在住 一般 23 名
- ④行田市外在住 ものづくり大学 20 名 (計 67 名)

67 人分のアンケートを集計し、記された建物や公園等を用途別に分け、342 項目から比較した。また、アンケートの範囲を面積に現した。

	行田市在住		行田市以外在住		計
	一般	ものづくり大学生	一般	ものづくり大学生	
一般	11	0	16	23	34
ものづくり大学生	0	13	7	20	33
計	11	13	23	20	67

表 1
アンケート結果
(単位:人)

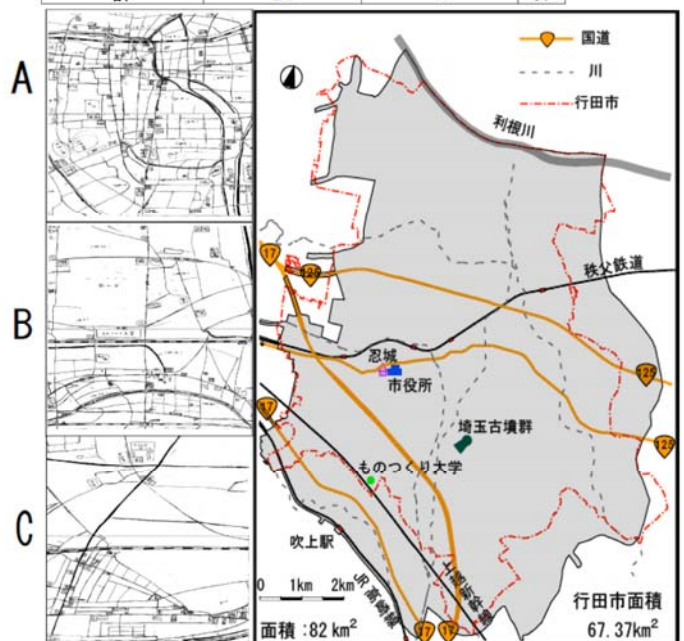


図 1 の範囲図

図 2—行田市概略図
(網は、図 1 の範囲)

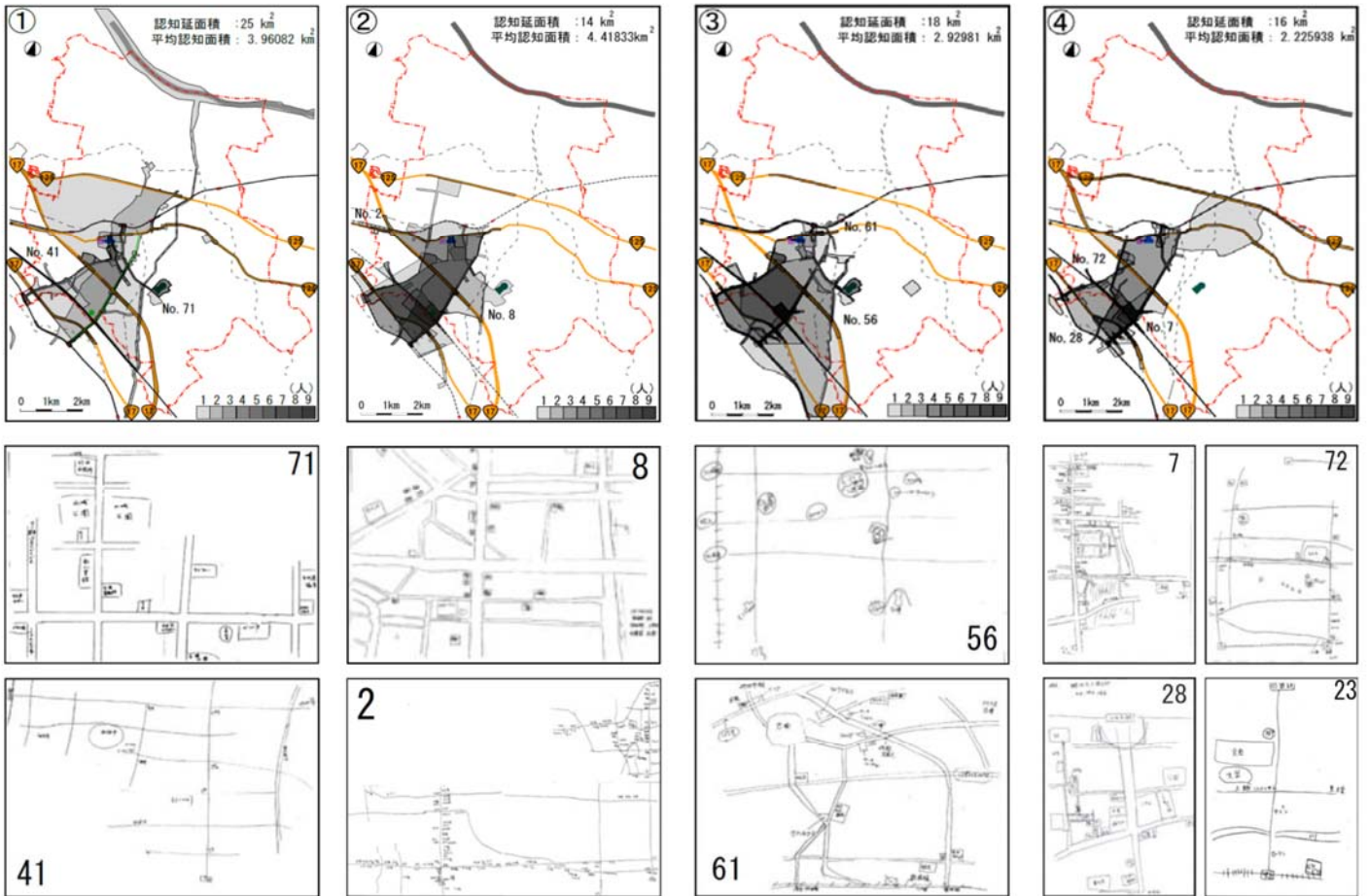


図3—行田市在住 一般 11人 行田市在住 もの大生 13人

行田市以外 一般 23人

行田市以外 もの大生 20人

表2—行田を認知するエレメント

項目	項目	①行田・一般 11人		②行田・もの大 23人		③行田以外・一般 13人		④行田以外・もの大 20人	
		人数	濃度	人数(女)	濃度	人数(県外)	濃度	人数(女)	濃度
Paths(パス)	125号	6	55%	7(2)	54%	4(0)	17%	4(1)	20%
	17号	7	64%	10(3)	77%	14(2)	61%	15(2)	75%
	依間～市役所	4	36%	6(2)	46%	5(0)	22%	4(0)	20%
Edges(エッジ)	産業道路	3	27%	11(2)	85%	16(4)	70%	14(2)	70%
	新幹線	4	36%	6(0)	46%	16(4)	70%	13(2)	65%
Districts(ディストリクト)	水城公園	5	45%	4(1)	31%	2(0)	9%	3(0)	15%
	古墳	3	27%	1(0)	8%	3(0)	13%	0(0)	0%
Nodes(ノード)	JR高崎線 吹上駅	5	45%	9(2)	69%	13(4)	57%	14(2)	70%
	JR高崎線 行田駅	3	27%	6(1)	46%	10(2)	43%	5(1)	25%
	秩父鉄道 行田市駅	3	27%	4(1)	31%	3(0)	13%	3(1)	15%
Landmarks(ランドマーク)	ものづくり大学	4	36%	11(3)	85%	18(7)	78%	17(2)	85%

4. まとめ

表2—ケヴィン・リンチによる都市イメージ5つエレメントを行田にあてはめてみた。

①行田市在住一般の方の特徴は、市役所や病院など公共施設について、認知度が高く、4グループと比べても認知面積が一番広い事が分かる。

②行田市在住、ものづくり大学生の特徴は、ものづくり大学・吹上駅・コンビニ・行田駅の順に認知度が高い、認知面積が一番狭いことが分かる。

③行田市以外一般は、大学が一番集中している。これは、学園祭でアンケートを一般の方に配布して

いたからだと考える。アクセスとなる国道17号線が多く知られていた。

④行田市以外で在住しているもの大生は、吹上駅からの通学路である道、建物が多。

全体的に、行田市の北側が知られていない事が分かった。その地域は畑や田んぼが多く、どのグループもあまり認知してしない事がわかった。

【参考文献】

- ・ケヴィン・リンチ『都市のイメージ』岩波書店
- ・『かたちのデータファイル』彰国社刊・1984年PP・40-41